

各府省等における博士号取得者及び 修士号・専門職学位取得者の 採用人数調査 (令和6年度実施)

内閣官房 内閣人事局
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局
文部科学省 高等教育局

1. 調査趣旨

第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月）において、博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの拡大が掲げられ、具体的な施策として博士号取得者の国家公務員や産業界等における国内外の採用、職務、処遇等の状況について、実態やニーズの調査結果と好事例の横展開を行うこととされている。これを踏まえ、各府省等における博士号取得者等の採用人数を把握するべく、今般、「各府省等における博士号取得者及び修士号・専門職学位取得者の採用人数調査」を実施。

2. 調査対象

- ✓ 調査対象は以下の26府省等。（調査時点：令和6年4月1日時点）

内閣官房、内閣法制局、内閣府、宮内庁、公正取引委員会、警察庁、個人情報保護委員会、カジノ管理委員会、金融庁、消費者庁、こども家庭庁、デジタル庁、復興庁、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、人事院、会計検査院

※外局のみに該当がある場合も、当該外局が所属する26府省等に整理。

- ✓ これらの機関に対して、博士号取得者及び修士号・専門職学位取得者の採用人数調査を実施。
- ✓ 令和6年4月1日に採用された職員のうち、各府省等の内部部局、試験研究機関又は文教研修施設において恒常的に人事管理をする予定の職員（任期付職員、任期付研究員、地方支分部局等採用職員、地方公共団体等からの出向者、官民人事交流による出向者、非常勤職員等を除外する。）を対象としている。
※4月1日以外に年度途中で採用した職員については含まれていない。
- ✓ なお、博士号取得者には、いわゆる「満期退学者」や「法務博士（専門職）」は含まない。

3. 今後の予定

- ✓ 今後も継続的な実施を予定。

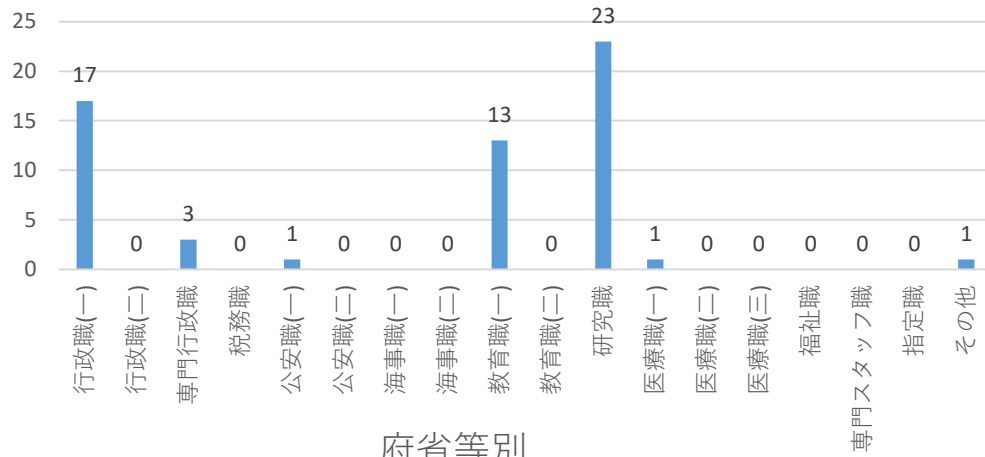
結果概要（博士号取得者）

令和6年4月1日において、府省等において採用された博士号取得者は59人

- 俸給表別で見るとほとんどの博士号取得者は研究職（23人）、行政職（17人）又は教育職（13人）として採用されている。
- 採用された方法として選考採用（41人）が最も多く、続いて試験採用のうち総合職試験（15人）となっている。
- 令和6年4月1日に1人以上の博士号取得者を採用した府省等は9府省等であり、特に厚生労働省と防衛省で15人を超える採用があった。
- 府省等ごとの行政職（一）の人数をみると、厚生労働省が最も多く、4人となっている。

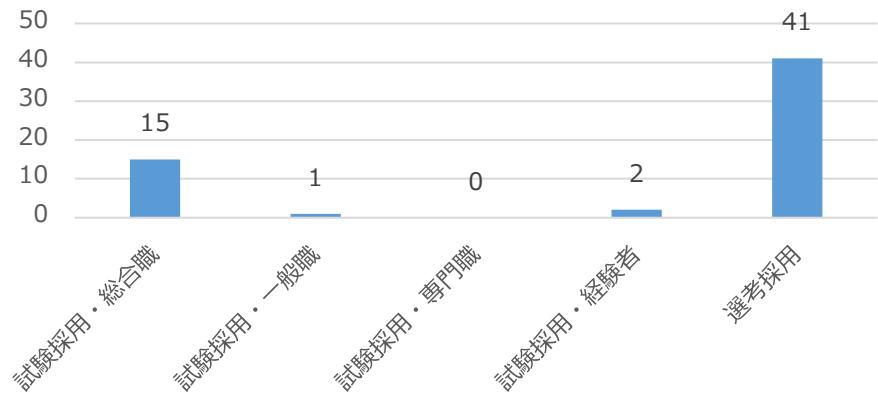
(人)

俸給表別



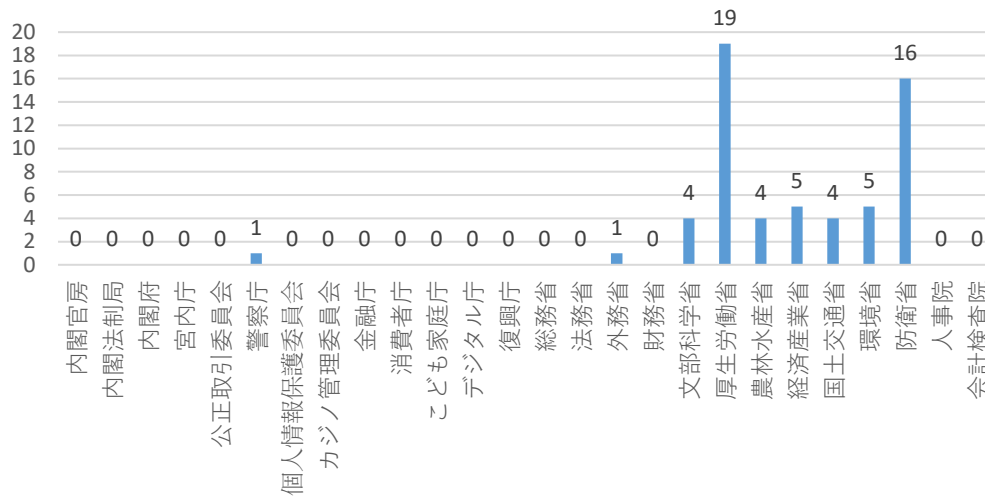
(人)

採用別



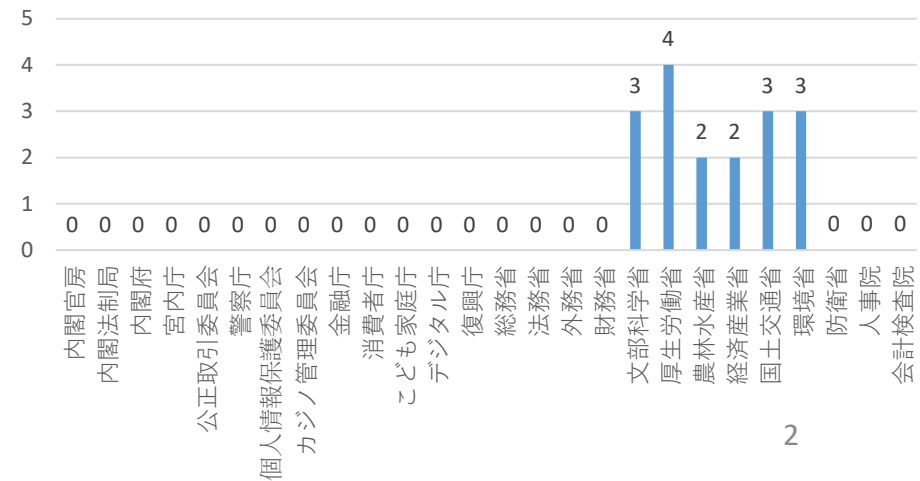
(人)

府省等別



(人)

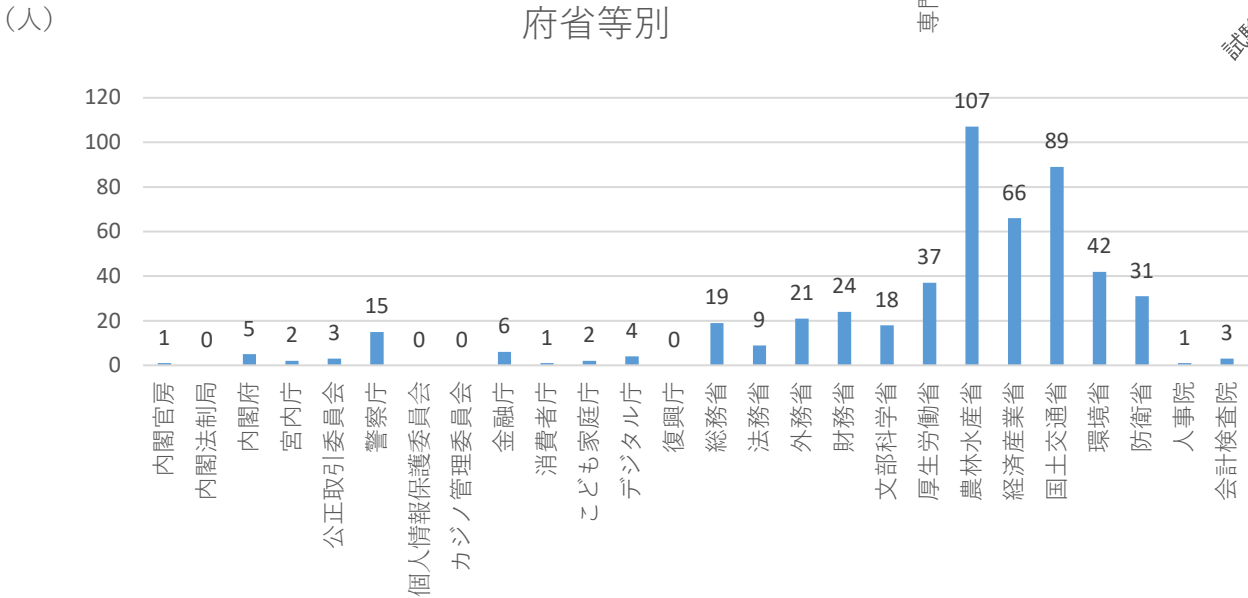
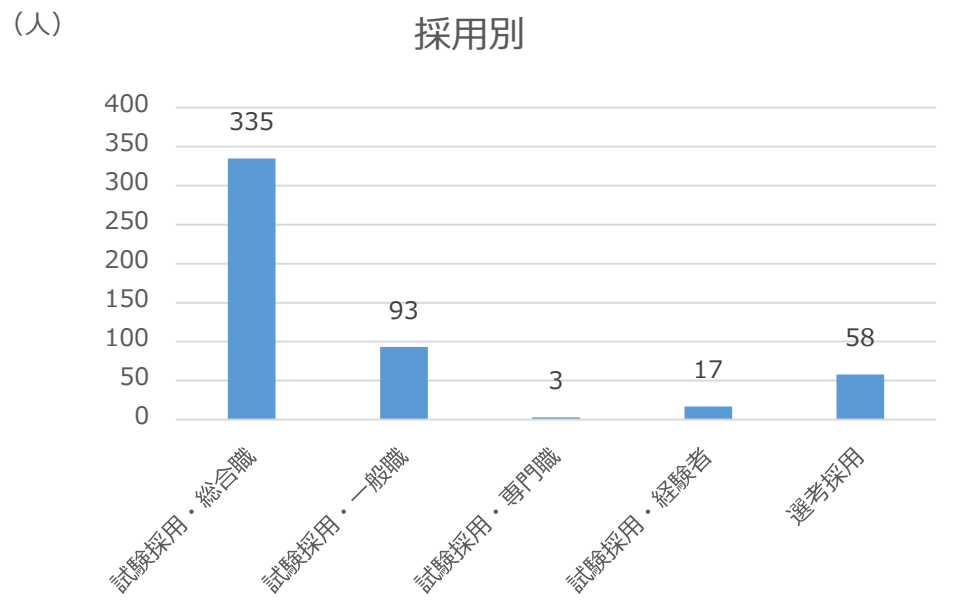
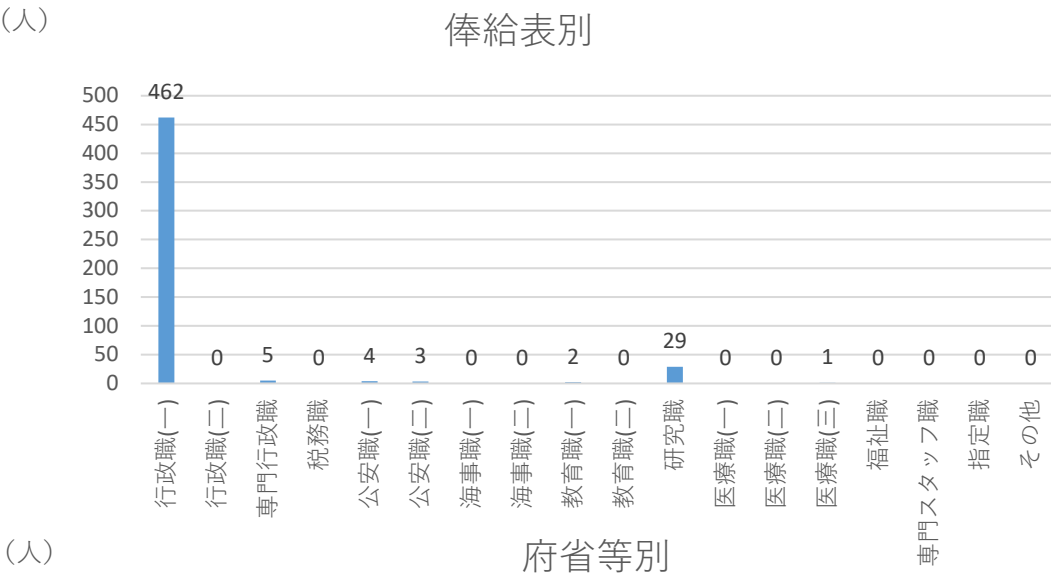
府省等別の行政職（一）



結果概要(修士号・専門職学位取得者)

令和6年4月1日において、府省等において採用された修士号又は専門職学位取得者は506人

- 俸給表別の採用人数を見るとほとんどが行政職(462人)として採用されている。
- 採用された方法として、試験採用のうち総合職試験(335人)が最も多く、続いて一般職試験(93人)と選考採用(58人)となっている。



(参考) 府省等における採用・活躍事例

文部科学省における博士課程修了者の採用について

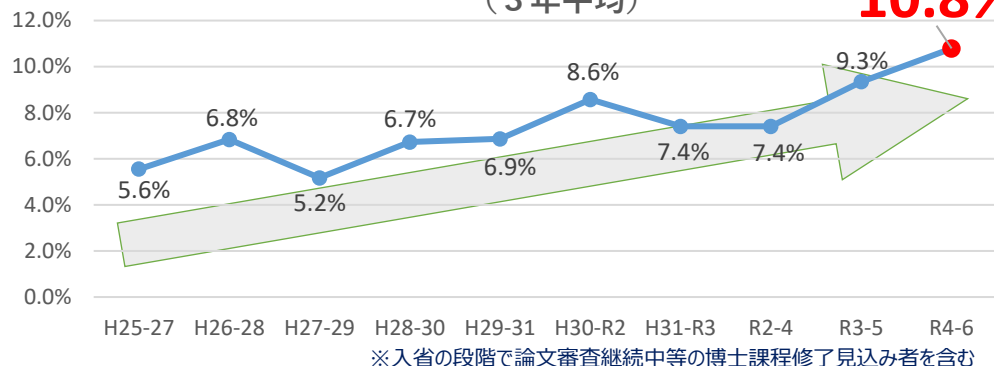
文部科学省職員（総合職）における採用状況

博士課程修了者を積極的に採用。

総合職採用者数に占める博士課程修了者*数の割合

(3年平均)

10.8%



- 毎年、総合職全体で30名程度を採用
- 令和6年度内定者のうち、**3名**が博士課程修了者
- ⇒ 総合職採用者数に占める博士課程修了者の割合は令和4～6年度採用者平均が**1割**を超え、今後も**更なる増加を目指す**。

文部科学省における博士課程修了者の活用促進

職員の適性や希望に配慮しつつ、博士の持つ能力を最大限に活かした柔軟な人事に向けて環境を整備。

- 博士ならではの能力・専門性を活かした人事配置、キャリアパス構築
- 人事評価を踏まえた昇任・昇格に係る期間の短縮 等

＜博士人材に期待する能力や強み＞

①企画・創造性

試行錯誤しながら、俯瞰的視野を持ち、エビデンスに基づいて新しい政策を開拓

②分野専門性

博士号取得分野に関する専門的な知見・経験や人的ネットワークを活用

③国際性

深い知見に裏打ちされた信用に基づき、国際的な交渉・協調を推進

活躍事例① 博士（農学），H24入省

現在、自身の経験も活用しながら、産学官連携、イノベーション創出に関する政策を担当。これまでも環境エネルギー分野や量子分野、宇宙開発に係る研究開発政策、博士学生・若手研究者の支援を担当。

活躍事例② 博士（理学），H31入省

現在、行政官と政策研究者の二足の草鞋を履きながら活躍中。行政官としてはこれまで、AI技術の研究開発の推進等を担うとともに、科学技術・学術政策研究所の研究官を併任し、科学技術政策に関連する分析・シミュレーションを実施。

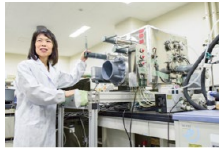
防衛省・防衛装備庁における博士号取得者の活躍について

～研究開発系技官の例～

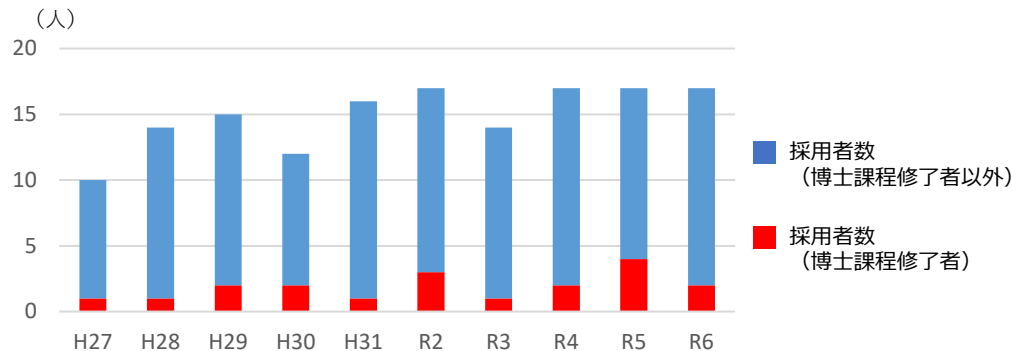


防衛省・防衛装備庁における研究開発系技官

- 防衛省・防衛装備庁において研究開発に従事する技官は**研究職**として、装備品等の研究開発プロジェクトの実施や、技術政策の企画・立案に従事
- 約**610名**のうち、約**165名**が博士号を保有
- 博士としての**専門的知見**、**研究マネジメント力**を活かし、防衛装備庁ならではの**大規模研究開発プロジェクト**を**主導**



博士課程修了者の新卒採用状況 (総合職研究開発系技官)



- 博士課程修了者を**長い間**、**一定数を採用してきた実績あり** (毎年、数名程度)
- 多種多様な専門分野からの採用実績あり** (例：航空宇宙工学、バイオ情報科学、生命医用工学等)
- 上記に加え、**留学研修により採用後の職員の博士号取得も支援**

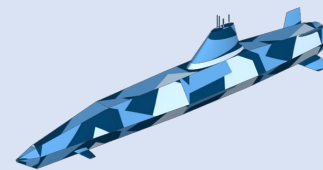
博士号取得者の活躍例

事例① 博士 (工学)、H7入庁
博士課程の研究テーマ：複合材料
入庁後の国内留学にて博士号取得。令和6年度に設置された**防衛イノベーション科学技術研究所**において、**民生技術を防衛技術に橋渡しする新たな仕組み作り**などを**研究統括官**として**主導**。



(令和6年10月1日 於防衛イノベーション科学技術研究所)

事例② 博士 (工学)、H28入庁
博士課程の研究テーマ：生体医療工学
工学系の研究経験を生かしつつ、入庁後は主に艦艇装備分野の研究開発に従事。現在は水上無人機 (USV) の大型**研究開発プロジェクト**を担当し、**技術面のみならず、海上自衛隊を含む関係者との調整をリード**。



戦闘支援型多目的USVの研究 (イメージ)

